

World Festival etc... イベント

ワールドフェスティバル

▼厚田浜益区ALTローラさんから

ワールドフェスティバルでは、文化交流のすばらしいひと時を過ごしました。「国際化」はとても良いことだと思います。

今回は、海を越えてやってきた世界中のアートや情報、そしてアクティビティが石狩でひとつになり、大人も子どももそれを体験する良い機会になりました。



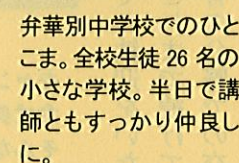
こんなこともしています...

— 姉妹都市との交流事業だけじゃない —

★石狩市シニアプラザ「はまなす学園」講座(受講生70人)の講師として石狩市の国際交流についてお話してきました。★当別町の弁華別中学校・小学校の国際交流授業へ外国人講師を派遣、随行をしました。石狩市内の小学校へも依頼があれば、講師を派遣しています。★去る12月13日と14日、協会事務局内で「クリスマス・フリー・マーケット」を開催しました。2日間で94人の方々にご来場いただき、48,706円の売上となりました。姉妹都市交流事業の一つ、青少年親善訪問団受入支援のために有効に使用させていただきます。ご協力ありがとうございました。★これら全ての事業には、会員、ボランティアをはじめ多くの方からのご協力をいただいています!



「はまなす学園」で講師をしている様子。スライドや職員それぞれの体験談を交えて国際交流について講演。



弁華別中学校でのひとこま。全校生徒26名の小さな学校。半日で講師ともしっかり仲良しに。



予想以上の反響ぶりに職員も感動。思わぬ掘り出し物があつたかも。

■新事務局員紹介■

伊藤朱美さん
あけみ



▼おひつじ座、B型▼夫とうさぎ2匹(らびすけ、メス、ぱに子・オス)と石狩に暮らす▼長年、旅行・航空関連で働く(OAではありません)▼自慢:仕事で得た、限り無く底の浅い、半端な語学知識(トイはどこのですか?)をアか国語で言える!以前アラビア語が書けた!もう忘れましたが。笑人並みはずれた肩こりも自慢です。どこの整体へ行っても驚かれます。▼趣味:旅行、読書(ノンフィクション、ミステリー、絵本など)登山

募集 ぼしゅう 十十十

「はじめの一步」から始まる国際交流がある。皆さんの周りに「はじめの一步」を踏み出してみようかな...という方は、いらっしゃいませんか?



日本語ボランティア

石狩市内で、外国人への日本語学習の先生、または、お手伝いをしてみませんか?随時募集中!



YA ホストファミリー

ヤングアンバサダー(YA)たちを受入れてくれるご家庭32軒を募集中です。期間:2009年4月9日~14日 締切:2008年2月20日

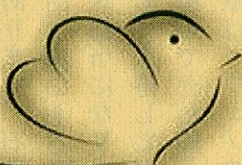


交換留学高校生


来春から、中国・彭州市へ短期(50日間)留学してみたい高校生募集中!滞在中はホームステイ。締切:2009年1月30日 ※詳細は事務局まで

♥はーとふる編集・発行♥NPO法人石狩国際交流協会広報部♥Tel 64・5931

はーとふる



Vol.13

NPO 法人 石狩国際交流協会 

■姉妹都市提携周年記念■

カナダ・キャンベルリバー 25周年 ロシア・ワニノ 15周年

石狩市との姉妹都市提携周年記念事業に参加するため、カナダ・キャンベルリバー市から26人、ロシア・ワニノ市から19人の訪問団が石狩に滞在して友好を深めました。今回の交流事業に協力頂いた協会のメンバーはもちろん、ホームステ

イで参加してくれた方をはじめとしてたくさんの方のご協力に感謝します。みなさんの両市との交流を楽しみ、気持ち、これからも続く石狩と両姉妹都市との友好の懸け橋となることを願っています。



▲ワニノ訪問団と市民



▲大活躍だったバグパイプバンド

9月20日に行われた祝賀会では、石狩流星海の「さけサンバ」にのって3か国の言葉の壁を越えてのダンス・パフォーマンスが最高の盛り上がりを見せていました。



友好の歌とともに15年

石狩・ワニノ

姉妹都市交流参加体験

■三上多香子さん

朝日ワニノに輝く
 そう石狩からのおはよう
 キラキラと美しくあたたかく
 心からの挨拶
 遠く海を隔ても
 ともに進む姉妹都市
 友情は永遠に
 ワニノ・石狩
 ワニノ・石狩♪



パンを食べる
三上さん（中央右）

て石狩との交流を大切に思う気持ちが伝わり、とても感動しました。私は2度ワニノに行きました。1度目は、姉妹都市提携1周年記念事業のときでした。ワニノで忘れられない思い出があります。私たちが、広場で写真を撮ることになり、カメラに向って並びました。少し離れたところからロシアの子ども達が見えて

皆さんこんにちは。この歌を気に入っていただけただろうか？この歌は石狩市とワニノ市の友好の歌です。ワニノ市は、ハバロフスク地方の東部海岸にあります。石狩市とワニノ市は15年前、港のある町という縁で姉妹都市になりました。石狩の港に初めて入港した船がワニノから木材を運んできた船だったそうです。この歌は、ワニノの方が姉妹都市になった記念に作りました。始めてこの歌を聴いたのは、14年前です。石狩と姉妹都市になった喜び、そし

すごいと思いました。「ブメスチュエ」は、私の一番好きなロシア語です。この言葉を聞くと、ワニノの子どもたちが駆け寄ってきた姿を思い出して、幸せな気持ちになり元気が出てくるのです。2度目のワニノ訪問は今年、15周年記念事業でした。パンに塩をつけて食べるロシア式の歓迎の儀式を初

めて経験し、わくわくしながらパンに塩をつけて食べました。塩のつけ過ぎでしょっぱかったですが(笑)おもしろかったです。とても楽しい体験でした。交流会では、友好の歌を久しぶりに聞き、この歌が歌い続けられていることに感動しました。これからもこの歌とともに石狩市民とワニノ市民の友好が続いていくことでしょう。

ワニノからのメッセージ

■セルゲイ・ナゴールヤクさん



ワニノのエルビス!? セルゲイさん▲



予定の変更で参加できなくなりました。せっかく「さけまつり」も、ぜひ参加したいという僕

石狩の皆さん、こんにちは！今回、ワニノの訪問団として石狩市を訪れ、両市の姉妹都市交流15周年を祝うことができるとも光栄でした。皆さんのあたたかいおもてなしや心遣いは、訪問団全員にとって忘れられない思い出になりました。ワニノ出発の2日前に僕たちが利用する航空会社が倒産買収されることになり、案の定スケジュールは、変更の嵐。おかげで石狩への到着

私たちの希望を聞いていただき、まつりのメインステージに立つこともできました！皆さんのご尽力に感謝しています。英語と違ってロシア語はよくわからないと思いますが、僕たちの演奏や歌に拍手やたくさん拍手を送ってくれて、すごく嬉しかったです。記念式典、祝賀会、歓迎夕食会では、言葉の壁を越えて一緒に歌い、踊り、本当に素晴らしい交流ができました！これから先も友好が続くこと、今回の周年記念事業がきっかけでますます交流が活発になることを願っています！

友好の歌とともに15年

石狩・ワニノ

姉妹都市交流参加体験

■三上多香子さん

朝日ワニノに輝く
 そう石狩からのおはよう
 キラキラと美しくあたたかく
 心からの挨拶
 遠く海を隔ても
 ともに進む姉妹都市
 友情は永遠に
 ワニノ・石狩
 ワニノ・石狩♪



パンを食べる
三上さん（中央右）

皆さんこんにちは。この歌を気に入っていただけただろうか？この歌は石狩市とワニノ市の友好の歌です。ワニノ市は、ハバロフスク地方の東部海岸にあります。石狩市とワニノ市は15年前、港のある町という縁で姉妹都市になりました。石狩の港に初めて入港した船がワニノから木材を運んできた船だったそうです。この歌は、ワニノの方が姉妹都市になった記念に作りました。始めてこの歌を聴いたのは、14年前です。石狩と姉妹都市になった喜び、そし



Campbell River 25th Sister City Anniversary Committee Economic Conference

キャンベルリバーからのメッセージ

■ジギー・スチュワートさん

(キャンベルリバー市議会議員)

石狩への訪問は、素晴らしかった。心のこもったおもてなしと友人たちを、私は決して忘れません！

この両市の素晴らしい関係がこれからも続き、皆さんにまた会えることを願っています。特にミスター飯尾には、お寺に招待してもらい、ゴルフのレッスンや「水と日本酒の違い」を教えてくださいました。感謝の気持ちを含めて「カンパイ！」



▲左 ジギーさん 右 ロイさん

キャンベルリバー訪問団は、カナダ会議・石狩さけまつり・記念式典・祝賀会への参加と、正に分刻みのスケジュールでした。そんな中、疲れた顔をしているメンバーがいたら、前の日に宴会で覚えた「カンパイ」という声をかけて、宴会隊長（ジギーさん）がみんなを励まして盛り上がっていたのが、カナディアンらしく印象的でした。

石狩の訪問団がキャンベルリバーを訪れた際にはたくさんさんの友人がで

別の友人としての歓迎をいただきました。両市がこれまで続けてきた文化、社会、教育の分野での交流は大変重要ですが、今回は特に、経済交流に重点を置きました。結果として、私たちの商工会議所と経済開発団体にとって交流の進展が見られ、素晴らしい機会になったと思います。こ

▼経済会議にて▲



石狩・キャンベルリバー姉妹都市提携25周年記念事業経済懇話会
Ishikari-Campbell River 25th Sister City Anniversary Committee Economic Conference



ホストファミリーからのコメント

■澤田康裕さん (RCMP)

受入れ初日、いきなり靴のまま玄関に上がってきたのでびっくりしました。さらに「家、狭いね」と何回も言われてちよつとムツ。「車、小さいね」とも言われた。よっぽど向こうの家も車も大きいんですね。その他にも、「崖の上のポニョ」の本を、贈り物と勘違いして持って帰っちゃったり。いろいろなありました。テレビや新聞ではわからない、バンクーバーの様々な話を聞いたり、楽しかったです。機会があればまた受け入れたいです。



▲クリスさんは、さけまつりにてRCMPの装いでキャンベルリバー訪問団の先頭を行進。▼澤田さんとクリスさん。

